



○ 幼稚園実習

全部の幼稚園にお邪魔してごあいさつをし、学生を激励し、その様子をお伝えしたいところですが、時間の制限もありましたので一部のみのお訪問となりました。紹介をしてみます。

20日(火)の午前中には周東幼稚園を訪問しました。ちょうど実習生が授業実践中だったので教室の外から邪魔にならないよう応援しました。絵を描いたりハサミで切ったりという工作の時間のようでした。「たより」の前号でも記述しましたが、工作はけがを伴いますので気をつかいますね。落ち着いた対応ができていようで安心しました。



周東幼稚園を選んだわけがあります。小学校勤務のとき子どもたちがここを卒業して自分の学校に入学していたからです。園長先生と面会し、私自身の着任のあいさつもしましたが、名前を覚えていらっしやっただけで嬉しかったですね。「たより②」で記述しましたが、連携とまではいなくても、「つながり」は大切ですね。いろいろなところで力になります。

別の日には聖光幼稚園に行きました。聖光高校の校長先生には本校の入学式に参列していただいたり学校評価委員の依頼をしたりしていましたが、幼稚園へのごあいさつがまだだったのでこの機会に出向いてみました。6年前には中学生の進学のことでも何度かお邪魔していましたが、このたび訪問してみたら一帯が見違えるように美しくなっていました。

実習中の学生は表情が柔らかく、緊張の中にも充実した実習ができているように感じました。彼女は高校生の時もここで少し実習をした経験があるようです。しかし今回はまた違うプレッシャーと闘いながらの取組だったと思います。

紹介できなかった皆さんも含めて「お疲れさまでした。」



自校自費

1年生が先週、「スポーツ」の集中講義を行いました。3日間いろいろな種目を体験しました。長縄跳びや卓球、バレーボールなどです。実は本校の学生は講義がたくさんあり、余暇の時間にスポーツをする機会があまりありません。日頃の運動不足が解消されたのではないかと思います。筋肉痛にも悩まされることでしょうか。(翌日に痛くなれば若い証拠!)どの学生も明るく取り組んでいました。



バレーボールでは最初、なかなかパスが繋がりませんでしたが、集中講義のおかげで3日目は試合らしくなってきました。スポーツでは上達の度合いが目に見えますね。他の講義の座学でも学びの度合いが目に見えるといいのですが、自分の脳の働き具合を想像することや試験の結果で判断できるということでしょうか。

